



平成29年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月10日

上場会社名 ジョルダン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3710 URL http://www.jorudan.co.jp/
 代表者(役職名) 代表取締役社長(氏名) 佐藤 俊和
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員経営企画室長(氏名) 岩田 一輝 (TEL) 03-5369-4051
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第3四半期の連結業績(平成28年10月1日~平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第3四半期	3,278	1.2	384	△7.5	401	8.7	267	35.6
28年9月期第3四半期	3,237	1.5	415	30.9	369	13.4	197	12.3

(注) 包括利益 29年9月期第3四半期 306百万円(121.3%) 28年9月期第3四半期 138百万円(△37.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第3四半期	51.70	—
28年9月期第3四半期	37.77	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年9月期第3四半期	5,657	4,551	80.3
28年9月期	5,469	4,399	80.2

(参考) 自己資本 29年9月期第3四半期 4,542百万円 28年9月期 4,384百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期	—	0.00	—	13.00	13.00
29年9月期	—	0.00	—	—	—
29年9月期(予想)	—	—	—	13.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年9月期の連結業績予想(平成28年10月1日~平成29年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,400	0.3	560	0.9	550	10.7	330	31.7	63.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

1株当たり当期純利益につきましては、当第3四半期連結累計期間における自己株式取得に伴う期中平均株式数の変動を反映しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年9月期3Q	5,255,000株	28年9月期	5,255,000株
② 期末自己株式数	29年9月期3Q	124,443株	28年9月期	35,443株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年9月期3Q	5,169,627株	28年9月期3Q	5,219,596株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成しております。実際の業績等は、今後の経済情勢、市場動向に関わるリスクや不確定要因等により変動する可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成28年10月1日～平成29年6月30日）におけるわが国経済は、緩やかな景気回復基調が続いてまいりましたが、一方で海外経済の不確実性等に留意が必要な状況となってまいりました。

情報通信業界におきましては、企業のソフトウェア投資は概ね横ばいの傾向となっておりますが、情報サービス業及びインターネット附随サービス業の売上高については前年同四半期（平成27年10月1日～平成28年6月30日）と比べ増加傾向となりました。また、個人のインターネットを利用した支出についても前年同四半期と比べ増加傾向にあります。このような中、スマートフォンの更なる普及（特にSIMフリースマートフォンの普及）に加え、IoTの進展やAI（人工知能）技術の進化等、情報通信に関する市場環境の変化は更に加速してまいりました。

当社グループにおきましても、この市場環境の変化に対応した事業展開のための基盤整備に取り組んでまいりました。「乗換案内」の各種インターネットサービス（携帯電話サイト・スマートフォンアプリ・スマートフォンサイト・PCサイト）の検索回数は平成29年3月には月間約2億1,900万回となりました。また、当該サービスの月間利用者数（無料サービスを月に1回以上ご利用いただいた方及び有料会員の方の合計）は当第3四半期連結累計期間においては1,000万人から1,200万人ほどとなっており、多くの方々に広くご利用いただいております。

このような環境の中で、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は3,278,294千円（前年同四半期比1.2%増）、営業利益は384,637千円（前年同四半期比7.5%減）、経常利益は401,848千円（前年同四半期比8.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は267,253千円（前年同四半期比35.6%増）という経営成績となりました。

売上高につきましては、乗換案内事業セグメント及びその他セグメントの売上高の増加が、マルチメディア事業セグメントの売上高の減少を上回り、全体として前年同四半期と比べ増加いたしました。営業利益につきましては、人件費及び外注費の増加等の影響により、前年同四半期と比べ減少いたしました。その一方で、経常利益につきましては、持分法による投資損益が大幅に改善し、また為替差損益の改善等もあり、前年同四半期と比べ増加いたしました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、経常利益の増加に加え、投資有価証券売却益の発生や投資有価証券評価損の減少、法人税等の負担率の減少等の影響により、前年同四半期と比べ大きく増加いたしました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(乗換案内事業)

乗換案内事業では、広告等について、特に「乗換案内」のスマートフォンアプリにおける広告の販売が増加し、その売上高が前年同四半期と比べ大きく増加いたしました。また、法人向けの製品・サービスの売上高も増加いたしました。これらの影響が、旅行関連の事業やモバイル向け有料サービスにおける売上高の減少の影響を上回り、乗換案内事業全体として売上高は前年同四半期と比べ増加いたしました。一方で利益面では、今後の展開を見据えた人員増強の影響等により販売費及び一般管理費が増加しており、前年同四半期と比べ減少いたしました。

それらの結果、乗換案内事業全体としては売上高3,129,820千円（前年同四半期比1.4%増）、セグメント利益600,263千円（前年同四半期比12.0%減）となりました。

(マルチメディア事業)

マルチメディア事業では、出版関連の事業における新刊タイトル数の状況等により、売上高は前年同四半期と比べ減少いたしました。これに伴い、利益面でも損失が拡大いたしました。

それらの結果、売上高49,872千円（前年同四半期比43.4%減）、セグメント損失15,086千円（前年同四半期は5,997千円の損失）となりました。

(その他)

受託ソフトウェア開発等の事業におきましては、案件の受注・納品が順調に推移したこと等により、前年同四半期と比べ売上高・利益は増加いたしました。

それらの結果、売上高112,869千円（前年同四半期比47.2%増）、セグメント利益9,976千円（前年同四半期比282.5%増）となりました。

なお、上記のセグメント別の売上高は、セグメント間の内部売上高を相殺しておりません。また、セグメント利益又は損失は、各報告セグメントに配分していない全社費用及びセグメント間の内部取引費用の控除前の数値であり、合計は連結営業利益と一致していません。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における財政状態は、前連結会計年度末（平成28年9月末）と比較しますと、資産は188,463千円増の5,657,647千円、負債は36,342千円増の1,105,779千円、純資産は152,121千円増の4,551,867千円となりました。

資産は、流動資産につきましては、178,113千円増の4,504,975千円となりました。これは、現金及び預金が147,319千円増の3,467,847千円、前渡金が77,874千円増の327,655千円となった影響が、受取手形及び売掛金が48,960千円減の524,190千円となった影響を上回ったこと等によるものです。現金及び預金の増加は、主に四半期純利益の発生や前受金の増加によるものです。前渡金の増加は、季節的な要因により旅行関連の仕入に係る前渡金が増加していること等によるものです。受取手形及び売掛金の減少は、季節的な傾向として第3四半期連結会計期間の売上高があまり多くないこと等によるものです。

固定資産につきましては、10,349千円増の1,152,672千円となりました。これは、有形固定資産が4,695千円増の241,169千円、無形固定資産が12,524千円減の116,079千円、投資その他の資産が18,178千円増の795,423千円となったことによるものです。有形固定資産の増加は、設備更新等のための工具、器具及び備品の取得、為替変動の影響等によるものです。無形固定資産の減少は、主に償却が進んでいることによるものです。投資その他の資産の増加は、持分法適用関連会社に対する持分相当額の増加等によるものです。

負債は、流動負債につきましては、31,096千円増の1,090,765千円となりました。これは、未払費用が47,034千円増の111,894千円、前受金が117,840千円増の658,340千円となった影響が、未払法人税等が93,452千円減の52,197千円となった影響を上回ったこと等によるものです。未払費用の増加は、主に夏の賞与支給額の確定によるものです。前受金の増加は、季節的な要因により旅行関連の売上に係る前受金が増加していること等によるものです。未払法人税等の減少は、法人税等の支払が11月と5月に集中すること等によるものです。

固定負債につきましては、5,246千円増の15,013千円となりました。これは、繰延税金負債が5,209千円増の7,145千円となったこと等によるものです。

純資産は、株主資本が117,726千円増の4,468,483千円、その他の包括利益累計額が40,164千円増の73,982千円、非支配株主持分が5,769千円減の9,401千円となりました。株主資本の増加は、利益剰余金が199,399千円増の4,002,931千円となった影響が、自己株式が81,674千円増の99,115千円となった影響を上回ったこと等によるものです。利益剰余金の増加は、親会社株主に帰属する四半期純利益が剰余金の配当を上回ったことによるものです。自己株式は、市場買付を行ったことにより増加いたしました。その他の包括利益累計額の増加は、その他有価証券評価差額金が21,051千円増の39,691千円、為替換算調整勘定が19,113千円増の34,290千円となったことによるものです。非支配株主持分の減少は、主に連結子会社の株式の追加取得によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,320,528	3,467,847
受取手形及び売掛金	573,151	524,190
商品及び製品	6,849	4,848
仕掛品	7,716	6,306
原材料及び貯蔵品	237	4
前渡金	249,781	327,655
繰延税金資産	50,897	45,770
その他	128,906	140,497
貸倒引当金	△11,206	△12,145
流動資産合計	4,326,861	4,504,975
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	57,615	55,450
機械装置及び運搬具（純額）	5,131	2,986
工具、器具及び備品（純額）	89,779	95,175
土地	83,947	87,557
有形固定資産合計	236,473	241,169
無形固定資産		
のれん	5,877	2,938
ソフトウェア	119,832	107,827
その他	2,893	5,313
無形固定資産合計	128,603	116,079
投資その他の資産		
投資有価証券	527,563	548,370
敷金及び保証金	226,722	228,353
その他	35,985	30,434
貸倒引当金	△13,025	△11,735
投資その他の資産合計	777,245	795,423
固定資産合計	1,142,322	1,152,672
資産合計	5,469,183	5,657,647

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	169,675	165,719
未払費用	64,860	111,894
未払法人税等	145,650	52,197
未払消費税等	33,340	22,812
前受金	540,500	658,340
賞与引当金	66,060	47,150
役員賞与引当金	5,000	4,500
返品調整引当金	6,947	6,138
ポイント引当金	3,038	3,085
受注損失引当金	1,834	0
その他	22,763	18,926
流動負債合計	1,059,669	1,090,765
固定負債		
ポイント引当金	2,431	2,468
繰延税金負債	1,936	7,145
その他	5,400	5,400
固定負債合計	9,767	15,013
負債合計	1,069,437	1,105,779
純資産の部		
株主資本		
資本金	277,375	277,375
資本剰余金	287,290	287,291
利益剰余金	3,803,532	4,002,931
自己株式	△17,440	△99,115
株主資本合計	4,350,756	4,468,483
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,640	39,691
為替換算調整勘定	15,177	34,290
その他の包括利益累計額合計	33,817	73,982
非支配株主持分	15,171	9,401
純資産合計	4,399,746	4,551,867
負債純資産合計	5,469,183	5,657,647

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)
売上高	3,237,914	3,278,294
売上原価	1,758,122	1,795,009
売上総利益	1,479,791	1,483,284
返品調整引当金戻入額	6,815	6,947
返品調整引当金繰入額	8,015	6,138
差引売上総利益	1,478,591	1,484,093
販売費及び一般管理費	1,062,745	1,099,455
営業利益	415,846	384,637
営業外収益		
受取利息	555	528
受取配当金	3,745	7,395
持分法による投資利益	-	3,008
為替差益	-	6,393
受取事務手数料	4,508	2,157
雑収入	1,971	751
営業外収益合計	10,780	20,234
営業外費用		
持分法による投資損失	49,438	-
投資事業組合運用損	1,709	2,433
為替差損	5,614	-
雑損失	311	589
営業外費用合計	57,073	3,023
経常利益	369,553	401,848
特別利益		
固定資産売却益	-	479
投資有価証券売却益	-	9,500
特別利益合計	-	9,979
特別損失		
固定資産除却損	8	0
投資有価証券評価損	10,000	-
子会社株式評価損	-	564
子会社清算損	-	0
特別損失合計	10,008	565
税金等調整前四半期純利益	359,544	411,262
法人税等合計	162,537	145,295
四半期純利益	197,007	265,966
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△112	△1,286
親会社株主に帰属する四半期純利益	197,119	267,253

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	197,007	265,966
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11,895	8,081
為替換算調整勘定	△22,991	14,498
持分法適用会社に対する持分相当額	△23,809	17,584
その他の包括利益合計	△58,696	40,164
四半期包括利益	138,311	306,131
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	138,423	307,417
非支配株主に係る四半期包括利益	△112	△1,286

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成28年11月10日開催の取締役会決議に基づき、平成28年11月17日から平成28年12月14日の期間において、市場買付により37,200株、29,919千円の自己株式を取得いたしました。同じく、平成29年2月9日開催の取締役会決議に基づき、平成29年2月13日から平成29年3月17日の期間において、市場買付により51,800株、51,754千円の自己株式を取得いたしました。これらの結果、当第3四半期連結会計期間末における自己株式は124,443株、99,115千円となっております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 平成27年10月1日 至 平成28年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	乗換案内事業	マルチ メディア事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	3,086,788	88,099	3,174,888	63,026	—	3,237,914
セグメント間の内部 売上高又は振替高	342	—	342	13,676	△14,019	—
計	3,087,131	88,099	3,175,230	76,702	△14,019	3,237,914
セグメント利益 又は損失(△)	682,362	△5,997	676,364	2,608	△263,126	415,846

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、受託開発ソフトウェア業、情報関連機器リース業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△263,126千円には、のれん償却額△2,938千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△260,188千円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成28年10月1日 至 平成29年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	乗換案内事業	マルチ メディア事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	3,129,085	49,872	3,178,958	99,336	—	3,278,294
セグメント間の内部 売上高又は振替高	734	—	734	13,533	△14,268	—
計	3,129,820	49,872	3,179,692	112,869	△14,268	3,278,294
セグメント利益 又は損失(△)	600,263	△15,086	585,177	9,976	△210,515	384,637

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、受託開発ソフトウェア業、情報関連機器リース業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△210,515千円には、のれん償却額△2,938千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△207,576千円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。